Pioneer





押して電源をオンにしてください。(AC アダプターをコンセン) から抜く必要はありません) -2-

アクセスポイントモードとステーションモードの切り換えは本機 電源オン時のみ有効です。モード切換スイッチを変更した場合は、 必ず、電源ボタンを押して電源をオフにし、再度、電源ボタンを



AC アダプターの極性

(接地)と、電力供給側の端子(LIVE)があります。これらの接続を変えることで音質

AC アダプターの構造は、右に示すようになっています。設置の際に参考にしてくだ



AC アダプター本体を AC100 V 入力

トラブルと対策

意外な操作ミスが故障と思われがちです。故障かな?と思ったら症状に合わせて下の項目をチェックしてください。なお、 下記の処置を行っても異常が直らない場合は、お買い上げの販売店またはカスタマーサポートセンターにご相談ください。 また、アプリケーションソフトで起きるトラブルについては、アプリケーションソフトメーカーの相談窓口にご相談くだ

本機が正しく起動しない。

 ・ 電源オン / オフボタンを押すとステータス LED とワイヤレス LED が一瞬、 橙色に点灯します。 点灯しない場合は AC アダプターの接続および電源コードが正しく差しこまれているか確認してください。

本機を再起動後または電源オン / オフ後に USB 機器が認識されない。

・USB デバイスによっては、USB ケーブルの抜き差しをしないと正常に認識をしない場合があります。本機の電源がオ ンの状態で、USB ケーブルの抜き差しをすると改善することがあります。

本機が正しく動作しない。

USB ケーブルだけで接続されていますか?

【対応方法】 ワイヤレスユニットとブルーレイドライブを接続する場合 USB ケーブルで接続します。AC アダプターは ワイヤレスユニットに接続してください。

コンピューターまたはアプリケーションが本機を正しく認識しない。

・USB ケーブルおよび AC アダプターが正しく接続されていますか?

【対応方法】ケーブルが確実に接続されているか確認してください。

・OS が対応していますか?

対応 OS の最新情報は Stellanova ホームページ (https://pioneer.jp/stellanova/) よりご確認ください。

ワイヤレスユニットと接続したあと、インターネットに接続できない。

・アクセスポイントモードでワイヤレスユニットに接続しているとき、別のネットワークに接続しないとインターネット は閲覧できません。別のネットワークに接続できない場合は、ワイヤレスユニットのご使用後、インターネット接続に 切り換える必要があります。

【対応方法】[ネットワーク接続]より SSID を切り換えてください。または、「PioneerWirelessConnect の使いかた」 (P.5)の「かんたん切替を使う」をご覧いただき、設定後に切り換えてください。

アクセスポイントモードで周波数を変更したら、SSID リストに本機の SSID(WBD-xxx)が表

・お使いのコンピューターが5 GHz 帯に対応していない可能性があります。

【対応方法】「すべての設定をお買い上げ時の設定に戻す」(P.5)をご覧になり、初期化してください。

ワイヤレスユニットの 802.11ac 対応状況

・本機は 802.11ac に対応していません。

USB-DAC で音楽を聴いているときに、SSID リストを表示させると、音楽にノイズが出る。

・SSID リストを表示するとコンピューターがネットワークスキャン動作を行うため、音声のデータ転送が一時的に中断

ワイヤレスユニットとネットワーク接続ができない。

アクセスポイントモード時は、SSIDまたはネットワークKEYを間違って設定した可能性があります。ワイヤレスユニッ トの底面をご確認のうえ、再度設定してみてください。

マルチホーム環境のご注意

内蔵無線 LAN の他に USB タイプの無線 LAN を増設しているコンピューター環境の場合、本接続アプリケーションカ 複数無線 LAN の環境を制御する必要があります。必ず、無線 LAN 子機をコンピューターに接続してから、本接続アフ リケーションをインストールするようにしてください。あとで増設する場合は、いったん本接続アプリケーションをア ンインストールしてから、無線 LAN 子機をコンピューターに接続し、その後再度インストールするようにしてください。

データ記録中または再生中にエラーメッセージが表示されたり、データ記録や再生に失敗したり する。または、データ記録や再生に非常に時間がかかる。

・電波干渉を受けている可能性があります。他の無線 LAN 機器が近くにあり、同じ周波数を使用しているようなときは、 チャネル(周波数帯)を変えることで改善する場合があります。

【対応方法】「無線 LAN の設定を変更する(5 GHz 帯を使用)」(P.6)に書かれている「通信チャネル」の設定を参考に 2.4 GHz 帯をお使いの場合、現在の設定を 1 ch ~ 6 ch から 7 ch ~ 12 ch へ、5 GHz 帯をお使いの場合、現在の 設定を 36 ch ~ 40 ch から 44 ch ~ 48 ch へ変更してください。 ステーションモード時はアクセスポイントである 無線 IAN ルーター側の設定を変更する必要があります。変更方法については、お使いの無線 IAN ルーターの取扱説明 書をご覧ください。それでも改善しない場合は、USB 有線接続に変更して、データ記録や再生を行ってください。

ネットワーク KEY を変更したらネットワーク接続できなくなった。

・WIndows OS が変更前のネットワーク KEY を記憶している場合があります。ネットワーク接続のプロパティでネット シ KEY かわからなくなった場合は、本機を初 化してお買い上げいただいた状態に戻してからご使用ください。

アクセスポイント/ステーションモード切換スイッチが効かない。

アクセスポイントモードとステーションモードの切り換えは、電源オンの起動時のみです。電源オフにて、スイッチを 切り換え後、電源をオンしてください。

家族みんなで共有したい。

アクセスポイントモード時、ステーションとして5台のコンピューターと同時接続が可能です。ただし、本機ワイヤレ スユニットに接続する機器は USB 機器として認識されるため、同時に複数のコンピューターからはご使用できません。

コンピューターに無線 LAN モジュールが2つあるのに、無線 LAN ルーターに接続している方で インターネットに接続できない。

デフォルトゲートウェイは、初期状態で「192.168.17.10」になっています。 1 台のコンピューターでデフォルトゲー トウェイが2つ競合し、インターネットに接続できなくなる場合があります。その場合は、デフォルトゲートウェイを 「192.168.17.10」に戻すことで改善することがあります。

無線 LAN ルーターとかんたん接続ができない。

一部の無線LAN ルーターでかんたん接続の使用に制限があるものがあります。無線LAN ルーターの電源を入れてから 無線LAN ルーターの起動完了後、ワイヤレスユニットの電源を入れ、かんたん接続することで改善する場合があります。

携帯端末への給電が切れる。

4つの USB 端子のうち中央の2つの「AUTO OFF」端子は、USB 機器と通信しない場合、USB デバイスへの電 源供給をオフするオートオフ機能を備えています。常時給電をする場合は、「AUDIO」もしくは「CHARGE」端子 をご使用ください。※定格は1Aですので、ご注意ください。

ブルーレイドライブで動画再生中に絵がカクカクすることがある。

・電波干渉を受けている可能性があります。他の無線 LAN 機器が近くにあり、同じ周波数を使用しているようなときは、 チャネル(周波数帯)を変えることで改善する場合があります。

【対応方法】「無線 LAN の設定を変更する(5 GHz 帯を使用する)」(P.6)に書かれている [通信チャネル]の設定 を参考に、2.4 GHz 帯を使用の場合、現在の設定を 1 ch ~ 6 ch \rightarrow 7 ch ~ 12 ch \sim 5 GHz 帯を使用の場合、 現在の設定を 36 ch ~ 40 ch → 44 ch ~ 48 ch へ変更してみてください。(ステーションモード時はアクセスホ イントである無線 LAN ルーター側の設定を変える必要があります。変更方法は、無線 LAN ルーターの取扱説明書 をご覧ください。)

- 一部常駐アプリケーションには、アクセスポイントを定期的に検索するような機能を持ったものがあります。その機 能が優先されていると、本機との接続を一時的に中断するため、絵がカクカクすることがあります。影響を与えてい るアプリケーションを終了させると改善する場合があります。
- ・ブルーレイ 3D ディスク、Ultra HD Blu-ray ディスクの再生は、データ転送量が非常に多くなるため、USB 有線接 続で視聴してください。
- 本機は、アクセスポイントモードとステーションモードの両方の機能を持っています。ステーションモード(本機と 無線 LAN ルーターとを接続することにより、同じネットワークのコンピューターで本機を使用する環境)をお使い の場合は、最大転送速度がアクセスポイントモード(本機とコンピューターを直接接続して使用する環境)の場合の 1/2になります。ブルーレイディスクを再生する場合は、アクセスポイントモードをご使用ください。
- ブルーレイディスク(2D)の最大データ転送量は54 Mbpsです。無線 LAN アダプターの仕様としては、最大 300 Mbps の 802.11 a/n MIMO (2 x 2) をご使用ください。内蔵無線 LAN モジュールの性能によりブルーレ イディスクの動画再生が安定しない場合は、300 Mbps 規格の USB タイプの無線 LAN モジュールをご使用いただ くことにより、安定した動画の再生ができる場合があります。
- ・コンピューター、無線 LAN ルーター、ワイヤレスユニットの距離が近すぎて通信性能が落ちる場合があります。距 離を1mくらいにすることで改善することがあります。
- 2.4 GHz 帯は、無線 LAN 関連機器以外にもいろいろな機器で使用されており、電波干渉を受ける可能性があります。 また、電子レンジなどの機器からの影響により電波障害が発生することがあります。2.4 GHz 帯をご使用の場合は、 5 GHz 帯のチャネルに変更することで改善することがあります。

ブルーレイディスクを視聴しているときに、SSIDリストを表示させると、動画がカクカクする。

・SSID リスト(ネットワークのアクセスポイント接続先一覧のことです。コンピューター画面右下のショートカット アイコンやネットワーク接続により表示されます)を表示するとコンピューターがネットワークスキャン動作を行う ため、動画のデータ転送が一時的に中断するためです。

BD Live を利用したいのですが、ワイヤレスユニットに接続していると、利用できない。

• BD Live を利用する場合は、インターネットに接続した無線 LAN ルーターをアクセスポイントとして、ステーショ ンモードでお使いいただくか、またはコンピューターで複数のネットワークを同時に使用する環境が必要です。動作 に問題がある場合は、USB 有線接続でご使用ください。

コンピューターから AC アダプターを外すと、動画がカクカクする。

・お使いのコンピューターの省電力機能により、コンピューターのパフォーマンスが下がっている可能性があります。 コントロールパネル]→[電源の設定]でバッテリー駆動時のパフォーマンスを下げないよう設定してください。話 定してもスムーズにならない場合は、お使いのコンピューターの仕様により、バッテリー駆動時の省電力機能を外せ ない場合があります。コンピューターの取扱説明書をご覧ください。動作改善しない場合は、コンピューターに AC アダプターを接続してお使いください。

- ワイヤレスユニットとはネットワーク接続できているのに、ブルーレイドライブが認識できない。

- ・ウィルス対策ソフトとの相性が悪いことがあります。ウィルス対策ソフトを最新にアップデートすると改善する場合 があります。
- ・ウィルス対策ソフトの中には「ファイヤーウォール」の設定により、ネットワーク機器を認識させない場合があります。 強度設定を変更することにより認識する場合があります。また、ワイヤレスブルーレイドライブを「公共」「パブリッ ク」のネットワークにしていると認識しない場合があります。「ホーム」「プライベート」にすることで認識する場合 があります。
- コンピューター起動後は、PioneerWirelessConnect でコンピューターとワイヤレスユニットに接続しているブ ルーレイドライブを接続する必要があります。P.5の「PioneerWirelessConnectの使いかた」をご覧いただき、 ブルーレイドライブを接続してください。

本機とブルーレイドライブ以外の USB 機器を接続したい。

- 一般的な USB デバイスなら認識し使用することができます。ただし、使用する場合の定格は 1 A です。定格を守る ようにしてください。
- ・USB 接続のスピーカーをお使いの場合、ノイズが出たり音が出なかったりすることがあります。その場合は、コン ピューターに直接接続してお使いください。
- USB ハブを経由して本機に USB 機器を接続することもできますが、USB ハブ経由の接続については動作保証およ び動作検証しておりません。USB ハブのバスパワー供給能力が足りない場合もありますし、本機が認識できない場 合もあります。

-8-